

世界との違い

私は岡田総領事の話聞いて、世界の人々との生活、文化などの違いを実感しました。

外交の話は、どんな本や記事を読むよりもわかりやすく、心に響きました。日本で当たり前のことが外国では通じないことはなんとなく分かっていました。でも、その話の中で特に印象に残った話は、教育を受けられずに育っている子供たちが精一杯の言葉で「食べるものをください」と言った話です。今、私はその子ども達とは正反対の立場にいます。とても幸せな環境で生活していて、飢餓なんて無縁です。日本がそれらの国々を援助する活動は、世界の先進国と発展途上国の経済格差をうめる重要なことなのだなと感じました。

私は外交が、日本と他の国々を結び付けるとも大切な役割であることが分かりました。岡田総領事の話聞いて、外交のことをよく理解することは重要だと思いました。

支援の意味

岡田総領事の講演会では、様々な国や地域、北方領土問題等について話された。中でも強く印象に残っているのは、綺麗な水を確保できない国に井戸を作り、お金を払ってもらおうということだ。今までは国が貧しいという理由から無料で井戸を作ってきたのだが、お金を払ってもらおうよう改善したらしい。これはお金を払ってもらうことで水がいかに大切かを理解してもらったためだそう。私は今までに、貧しい国々を支援するには全て負担をこちら側とするのだと考えていた。だが、この話を聞いて、ただ優しいだけでなく、その国が自立できるようにしなくてはならないのだと考えた。

岡田総領事の話は、世界について何も知らない私たちにとってとても興味深いものであり、すごくためになったと思う。私もいつか外国に行ってもっとたくさん知識を得たい。